

〔SCIEX 共催〕 オンラインセミナー

有機化合物の分析に必要不可欠なツール、質量分析装置。
その活用分野は、創薬研究、タンパク質や脂質などの生体成分の研究開発、食品中の残留農薬試験や機能性成分についての研究など、あらゆるアプリケーションに広がりを見せています。
質量分析を活用した先端の研究に触れるまたとない機会です。
ぜひご参加ください。



日時 2020年11月10日(火)
12:30 ~ 13:30

四重極・飛行時間型質量分析計 Q-TOF 型 LC-MS/MS を用いた網羅的ジペプチド測定

SCIEX アドバンスワークフロースペシャリスト

建田 潮

〔講演要旨〕

液体クロマトグラフ質量分析計は、イオン化がペプチドに適しているため、合成したペプチドの確認や、生理活性ペプチドの定性 / 定量など、様々な分析に応用されてきました。ジペプチドはその生理活性や消化吸収性などにおいて、重要な化合物です。ところが、これをサンプルから網羅的に検出する方法はあまり知られていません。そこで、今回 300 を超えるジペプチドに対する精密質量の MS/MS スペクトルライブラリを構築しました。これを用いることにより、Q-TOF 型質量分析計を使用して網羅的に試料中のジペプチドの検出を行えるようになりましたので、ご紹介いたします。